

ステージ別おすすめ対処法チェックリスト【薬物依存症編】

ステージ	本人の状況	家族・支援者等の状況	対処法(例)
ステージ1  好奇心や息抜きのための薬物利用から乱用の段階  <b>予防</b>	<input type="checkbox"/> 趣味嗜好が変化する <input type="checkbox"/> 交友関係が変化する <input type="checkbox"/> お金の使い方が変化する	<input type="checkbox"/> 本人の薬物使用には気が付かない  <b>【家族・支援者等へのメッセージ】</b> ・ステージ1で家族が本人の薬物乱用・使用に気が付くことは稀です。それは、本人が隠れて使用しているためです。しかし、ステージ2まで進むと、やめることが困難になります。ステージ1の段階で本人の行動や交友関係、金遣いの変化で気になることがあれば、気軽に相談機関に相談しましょう。	※問題化しないための情報収集等 <b>【依存症の相談機関等】</b> ・専門相談機関へ相談 ・お住まいの区役所へ相談  ※定期的な健康チェック <b>【健康に関する相談機関等】</b> ・勤務先の健康相談窓口へ相談 ・お住まいの区役所へ相談
ステージ2  様々な問題が発生する段階  <b>早期発見</b>	<input type="checkbox"/> 薬物がないと物足りない <input type="checkbox"/> 不安やイライラなどを感じる <input type="checkbox"/> 薬物を何とか手に入れようとする(家族の金を盗る等) <input type="checkbox"/> 仲間と一緒に薬物を使う <input type="checkbox"/> 様々な離脱症状が現れる <input type="checkbox"/> 暴言や暴力	<input type="checkbox"/> 本人の借金の返済など、本人の尻拭いをする <input type="checkbox"/> 本人からお金の無心がある <input type="checkbox"/> この先どうしたらよいかイメージが持てなくなる  <b>【家族・支援者等へのメッセージ】</b> ・多くの家族はステージ2の段階で本人の薬物依存に気が付きます。 ・薬物依存症に関する正しい知識を得ることが大切です。 ・なるべく早く家族会や相談機関等に相談し、適切な支援等を受けることをお勧めします。	※欲求がおさえられない、精神症状、身体的健康など <b>【医療機関】</b> ・依存症専門医療機関へ相談 <b>【悩みを共有できる場】</b> ・家族会 ・自助グループ  ※欲求がおさえられない、問題の整理、依存症関連の情報収集等 <b>【依存症の相談機関等】</b> ・専門相談機関へ相談 ・お住まいの区役所へ相談  ※様々な生活課題等 <b>【生活の立て直し】</b> ・お住まいの区役所へ相談 <b>【借金等】</b> ・弁護士、司法書士
ステージ3  命の危険性のある段階  <b>回復に向けて</b>	<input type="checkbox"/> 幻覚・妄想などの症状が悪化 <input type="checkbox"/> 身体的な疾患も悪化 <input type="checkbox"/> 周囲の人への暴言や暴力 <input type="checkbox"/> 社会的な信用を失う <input type="checkbox"/> 犯罪を犯す、逮捕される	<input type="checkbox"/> 自分を客観視できず、どのような状態にあるのかわからない <input type="checkbox"/> 本人から暴力を振るわれている <input type="checkbox"/> 家族ではどうにもならない問題とを感じる  <b>【家族・支援者等へのメッセージ】</b> ・家族が元気にならなければ、本人も元気にはなれません。家族会や相談機関等に相談し、適切な支援等を受けることをお勧めします。	※ステージ2の相談機関等を参考にしてください。  ※緊急時の対応 <b>【周囲の人への暴力】</b> ・警察署(110番) <b>【生命の危機的状態】</b> ・救急通報(119番) ・救急電話相談(#7119番)
<b>【チェックリストの活用例】</b> ★各ステージでいくつチェックがつかしましたか？ステージをまたがってチェックがつくこともあると思います。より進んだステージに複数チェックが入っている場合には、進んだステージでの対応を検討することをお勧めします。 ★ステージ2や3にチェックがついた場合、緊急性の判断が必要となる可能性があります。早急に相談機関等に相談し、適切な治療・支援等を受けることをお勧めします。  <b>【家族・支援者等へのメッセージ】</b> 本人の心は「治療や相談を受けてみようかな」という気持ちと「絶対に受けたくない」という気持ちの間で揺れ動いています。本人を治療や相談につなげるためには本人が治療や相談を受けてみようかなと思いやすいタイミングで声をかけることが効果的です。			